



浦島伝説

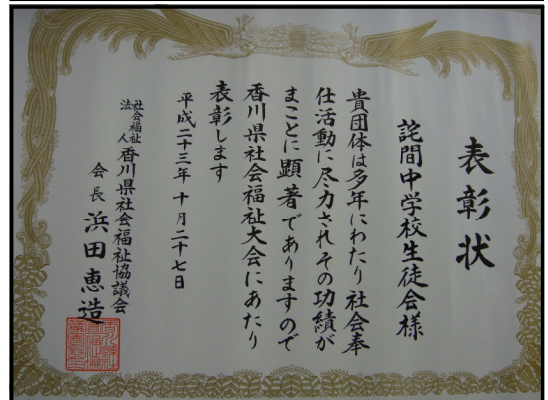
2つの功績

本校は、昭和22年に開校し、今年64年目を迎えました。その間、先輩方が築き上げてきた数々の伝統を守りつつ、新たな挑戦を行ってきました。その地道な取り組みに対して、表彰状・感謝状をいただきました。

賞状には、「交通安全思想の高揚と交通事故防止につとめ交通安全に尽力された功績」「社会奉仕活動に尽力された功績」と書かれてあります。交通安全については、これまで大きな交通事故もなく、交通ルールやマナーが守られていたことが評価されたのだと思われます。また、社会奉仕活動については、アルミ缶や牛乳パックなどを回収した収益から、毎年、社会福祉団体に車椅子を寄贈していたことが認められたのでしょうか。香川県警察本部長・香川県交通安全協会会長、香川県社会福祉協議会会長(香川県知事)から贈られたことを考えると、香川県の中でもその取り組みが特に優れていたということですね。また、どちらも一朝一夕にはできないことであり、先輩方も含めた詫間町に対する評価だと考えることもできます。

しかし、奉仕活動については、今も継続的に実施しているため、胸を張って表彰状を受け取ることができますが、交通安全については、登下校の現状を考えると、少々恥ずかしさを覚えます。これまで先輩方が築き上げてきたことをしっかりと受け継いで、後輩にバトンを渡すのが私たちの役目です。

「自転車が道いっぱい広がっていて通れない」「子どもやお年寄りがすれ違おうとしてもよけてくれない」という苦情がよく届きます。相手を思いやるちょっとした気持ちがあれば、だれでも魔法使いになれるのです。



魔法使いの少年

押しボタン式の信号が赤に変わる。
私は車を停めた。
「間が悪いな・・・」

その時、突然、魔法を掛けられた。
横断歩道をわたり終えた男の子が、
こちらに向かつて
「おいねいに頭を下げたのだ。」

少年の「ありがとう」のおじぎには
私を、対向車の人を、一瞬にして
笑顔に変えてしまった。

「ありがとう」の気持ちには、
思いもよらない力がある。

※ACジャパン新聞広告から引用

プレイバック2011

- ◆春季体育祭 <第10号>
今年から春に移行した体育祭。台風接近のため2日順延になりましたが、生徒も保護者も大活躍でした。
- ◆合唱コンクール <第26号>
2年ぶりにマリンウェーブで開催しました。先生方の「オワリはじまり」にも大きな拍手をいただきました。
- ◆学校保健研究発表会 <第29号>
生徒たちの元気なあいさつや授業での活躍、2人の先生の息の合った授業に高い評価をいただきました。
- ◆レスキュー隊発足 <第20号>
須田保育所との合同避難訓練では、子どもたちを抱きかかえて避難しました。四国新聞にも載りました。
- ◆スクールバス <第35号>
18年ぶりに新しくなったバスには、マスコットキャラクターの「カメ太郎」が描かれていました。
- ◆「イ〜なの日」 <第6号>
今年初めての試み。教室に掲示された「イ〜なカード」には、友達のいいところがいっぱい書かれています。
- ◆ふれあい集会・人権集会 <第22・35号>
生徒会主催による集会では、全校生徒の気持ちがひとつになっていることを実感することができました。